

静脈表在化併用動静脈瘻作製術（arteriovenous fistula creation combined with venous superficialization: AVF-VS）によるバスキュラーアクセス（VA）の有用性

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	静脈表在化併用動静脈瘻作製術（arteriovenous fistula creation combined with venous superficialization: AVF-VS）によるバスキュラーアクセス（VA）の有用性
倫理審査受付番号	第2933号
研究期間	2018年 5月倫理審査承認日～2025年 4月30日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に循環器内科を受診された慢性腎臓病（維持血液透析）の方 2014年 5月 1日～2018年 4月30日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報

研究概要	（研究目的、意義） 血液透析用VAにおいて、従来の自己血管内シャント（動静脈瘻作製：AVF）＊に穿刺部位の作製（静脈表在化：VS）＊＊を組入れた方式「静脈表在化併用動静脈瘻作製術（AVF-VS）」の有用性を検討します。 ＜AVF＊とは、上肢の動脈と静脈をつなぎ合わせる方法です。VS＊＊とは、深い位置にある静脈を皮膚直下で固定する方法です。＞ （研究の方法） 血液透析導入時およびVA再建時にAVF-VSを実施した患者さんを対象とします。AVF-VSの開存性（使用状況、血栓閉塞・血管狭窄の発生）と安全性（合併症の発生）について追跡調査します。 （外部への試料・情報の提供） 本施設から外部への情報の提供はしません。研究協力施設から提供された情報は、電子データとしてセキュリティ管理機能を有するUSBメモリーによって保存され、特定の関係者以外がアクセスできない状態とし、当科で施錠保管されます。 （研究組織） ・兵庫医科大学 内科学 腎・透析科 ・独立行政法人労働者健康安全機構 関西ろうさい病院 内科（腎臓）研究責任者 末光 浩太郎 （個人情報の取り扱い） 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 循環器・腎透析内科 倉賀野 隆裕（研究責任者） 名波 正義（研究担当者） TEL （平日 9：00～17：00） 0798-45-6521 （上記時間以外 当直医） 0798-45-6522